

2021年3月14日 主日礼拝 <誕生祝福式>

司 会
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌472番「人生の海の嵐」
(花咲く野原のように) (アーメン・主にハレルヤ)

使徒信条・ヤベツの祈り

聖 書 ①② ヘブル人への手紙12章1～11節 (P356)
③ ルカによる福音書19章1～10節 (P121)

音 楽 宮川由起子姉／伴奏:濱田志穂 (V)

誕生祝福式

メッセージ ①② 「出会いと、別れ…そして再会！」 坪井永城副牧師
③ 「洪水はわが魂に及べり」 大川従道主任牧師

賛 美 「遠くにや」 (東日本大震災のため献金)
頌 栄 「グローリア・インエクセルシステオ」 アーメン
祝 禱

「人の子がきたのは、失われたものを尋ね出して救うためである。
(ルカ十九の十)」

【大和ニュース】

- ☆大川先生ご夫妻は無事に沖縄より戻られました。ハレルヤ！主よ、感謝します。
- * 本日は東日本大震災の記念礼拝です。引き続き、東日本、東北のため祈りましょう。
- ・教会総会は13時半泉チャペル礼拝堂にて。
- *ヤンチャはオンラインにて。学生・青年会は15時から泉チャペル。
- * 今週の祈禱会も大切に！ 説教は大川従道牧師。証人は熊谷茂神学生。
①水曜夜7時～8時 ②木曜朝10時半 * 木曜祈禱会后婦人リーダー会。
- * 金曜日は9時～15時まで断食祈禱日。1時間ごとに御言葉を聞き、祈ります。
- * 金曜夜8時～「J+Passion」(ZOOM・登録制)メッセージ柴橋岐阜市長。(担当:坪井師)

石の枕

(坪井副牧師記す)

郡山市で生まれ育った私にとって311は、生涯を変える出来事です。しかしこの事実の上にある神の真実を信じます。下記は、父が10年間活動しているNPO 法人 Fukushima いのちの水の活動記事です。お祈りに感謝します。

2011年当初は、子どもたちの命を救うことだけに専念していた。3年ほどして、おかしい気分になった。若い母親たちの屈託ない「ありがとう！」という言葉が身にしみてきたのだ。これまで牧師として長年、死に際した人々の感謝の言葉を聞いてきた。しかし、孫のような年代の母親たちの軽い「ありがとう」の言葉が不思議に心にしみた。やがて分かった。自分の命の瀬戸際に言う感謝よりも、自分の子どもに水一杯でも与えてくれる者への「ありがとう」の言葉の方が重かったのだ。「最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです」(マタイ 25:40)という言葉が思い出された。

毎月累々として人々が水と食料を受け取っている。配る者たちは台車を押して走り回る。受け取りに来るのは800～1000人ほどの母親たちだが、その背後には数千人の子どもがいる。ガリラヤ湖畔の5千人への給食が目の前に浮かぶ。

神の国は私たちのただ中であつた。毎日、数百トンの水と食料をリフトで倉庫に積み上げている。昔、アッシジのフランチェスコが一人で廃墟となつた教会の石を積み上げていったように、今私たちはここに神の国を積み上げている。確かな現実として。



以下は、大川記す。お祈りいただいて、一ヶ月の「宣教と休養」の生活を終えた。心からの感謝をささげます。「白い家フェローシップチャーチ」では、私たちの「50年牧会祝賀会」を超盛大に催して下さい、喜びと感謝と笑いと涙のバクハツハプニングであつた。沖縄の美しさ、食のおいしさを存分に味わわせていただき、おもてなしの秘を体験した。

説教の奉仕は、白い家教会を中心に9回。特に、県内合同の牧師会、婦人牧師会に招かれ、『永遠と復活』を御紹介したり、『奇跡の軌跡』を証詞でき、多くの牧師たちとの交わりも、生涯の宝となつた。

その他、大和と支教会のほとんどすべての集会をYouTubeで味わい、楽しんだ。みなさん、ありがとう！私の「終活」(終わりの活動)のため、お祈り下さい。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース:マルコ14章～ルカ1章 Bコース:申命記23章～ヨシュア3章